

ソリューションインポート手順書

2023年8月25日 日本マイクロソフト株式会社

免責事項

本テンプレートはサンプルであり、Microsoft Power Platformにおいて、参考情報の提供や、個人と企業のコミュニケーションを促進する目的でのみ使用することができます。

本テンプートおよび関連サービスは、恒久的なアプリケーション使用を意図したものではありません。日本マイクロソフトはそのような目的で本テンプレートおよび関連サービスを使用するライセンスや権利を本テンプレート利用組織に付与していません。

本テンプレートおよび関連サービスは、各企業のニーズを全て含めるように設計されたものではなく、そのような用途で使用されるものではありません。実際の利用や必要な追加のカスタマイズは導入支援パートナーに確認・依頼してください。

本テンプレートおよび関連サービスのいかなる使用においても、利用者がすべてリスクと責任を負うものとします。また、実装した本テンプレートおよび関連マイクロソフトサービスの使用に関して、適切な警告や情報をエンドユーザーに提供することについても、利用者が責任を負うものとします。本テンプレートは、日本国内での使用のみを目的とし、欠陥などがある可能性を含んだままの状態で提供されており、いかなる種類の保証も適用されません。



はじめに

- 本資料は2023年8月時点の手順です。
- 詳細な手順は Microsoft Learn をご確認ください。

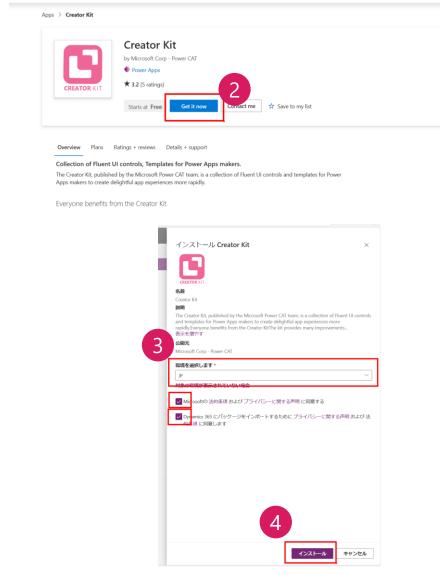
 ➤ ソリューションのインポート Power Apps | Microsoft Learn
- 本ソリューションを利用する為には、Azure OpenAIサービスのリソースの作成が別途必要です。
- 本手順書ではGPT-3.5のモデルを利用しています
- 本手順を実施する前に、インポート対象の環境で「Power Apps Component Framework 機能」が有効化されているか以下のドキュメントを参考にご確認下さい。 キャンバス アプリ の コード コンポーネント - Power Apps | Microsoft Learn



Creator Kitのインポート

■ All Apps ∨ Categories ∨ Industries ∨ Consulting Services ∨ Partners ∨ Co-Sell ☑

Microsoft | AppSource



Search AppSource Apps



- 1. https://appsource.microsoft.com/en-US/product/dynamics-365/microsoftpowercatarch.creatorkit1?tab=0verviewにアクセス
- 2. [Get it now]をクリック
- 3. インポートを行う対象の環境を選択(自身がシステム管理者ロールを持つ環境しか表示されません)、
- 4. 同意事項にチェックを入れ、[インストール]をクリック

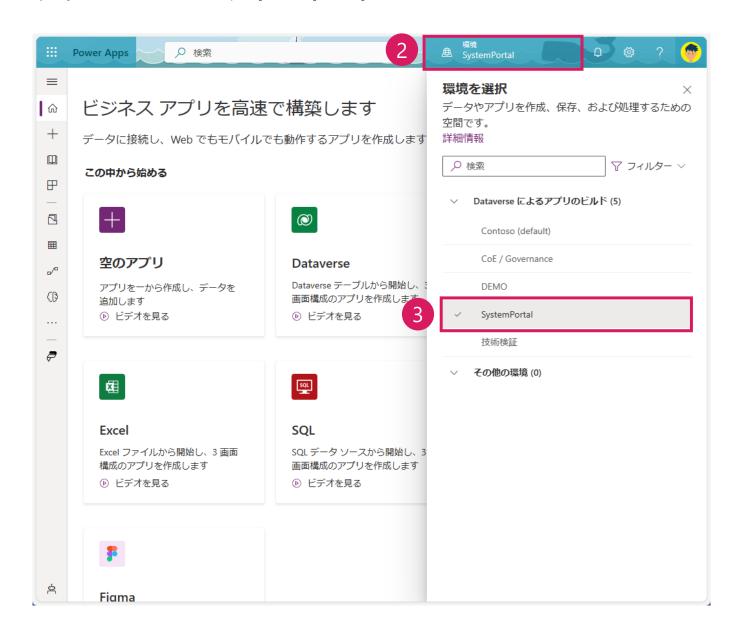
Creator Kitのインポート





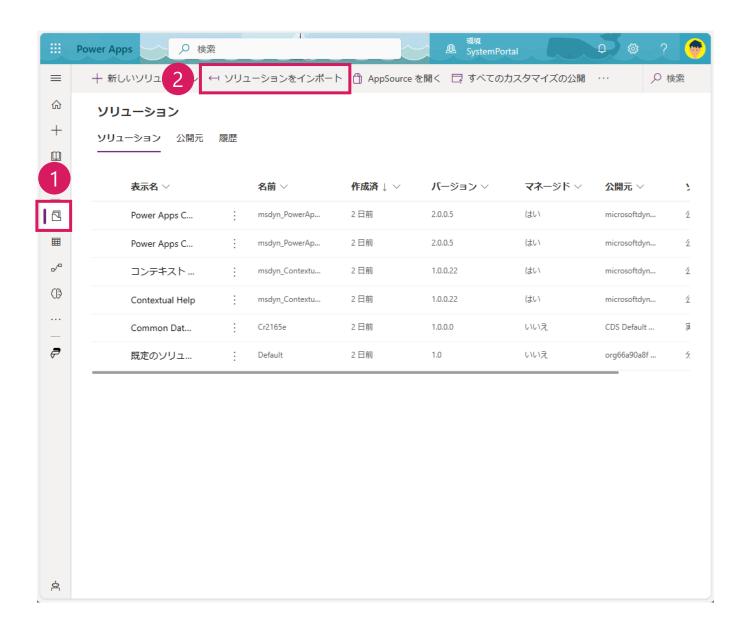
1. [最新の情報に更新]をクリックし、「Creator Kit」 がインストール済みになっていることを確認





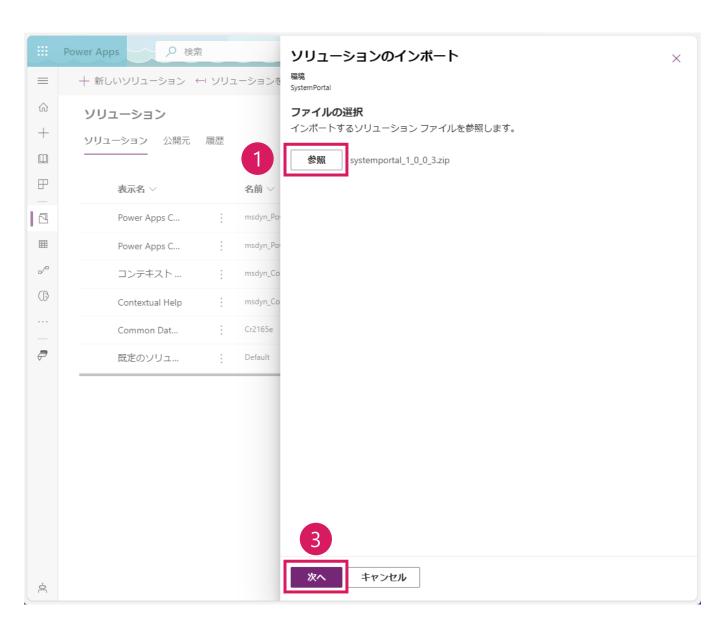
- 1. https://make.powerapps.com にアクセス
- 2. 環境名をクリック
- 3. ソリューションをインポートする環境を選択





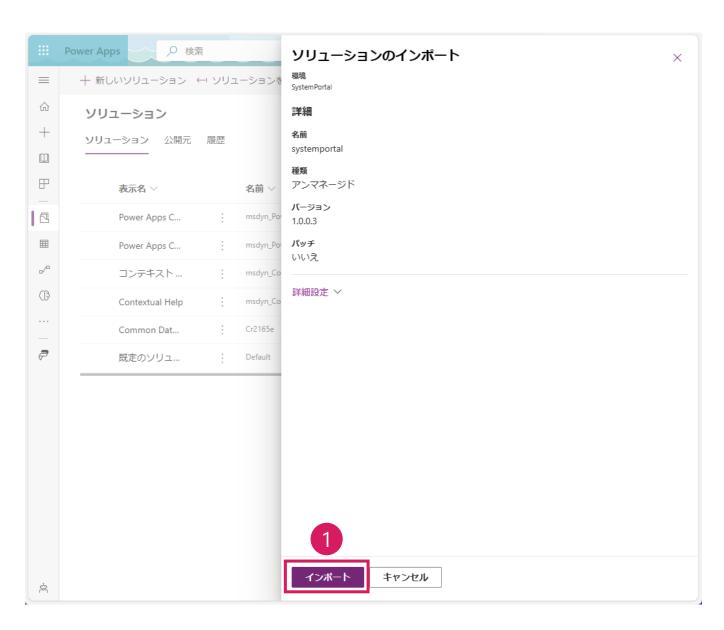
- 1. 「ソリューション」をクリック
- 2. 「ソリューションをインポート」をクリック





- 1. 「参照」をクリック
- 2. インポートするソリューションファイル(zip)を選択 ※配布されているソリューションには、 「xxx_x_x_x_managed.zip(マネージドソリューション)」と 「xxx_x_x_x_xzip(アンマネージドソリューション)」があります。 アプリを改修し機能を追加する場合は「アンマネージドソリューション」、 それ以外の場合は「マネージドソリューション」を選択します。 詳細はドキュメントをご参照ください。 ソリューションの概念 Power Platform | Microsoft Learn
- 3. 「次へ」をクリック





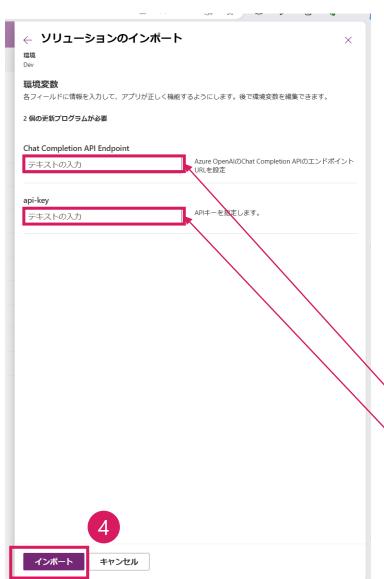
1. 「インポート」をクリック ※インポート完了まで少し時間がかかります。

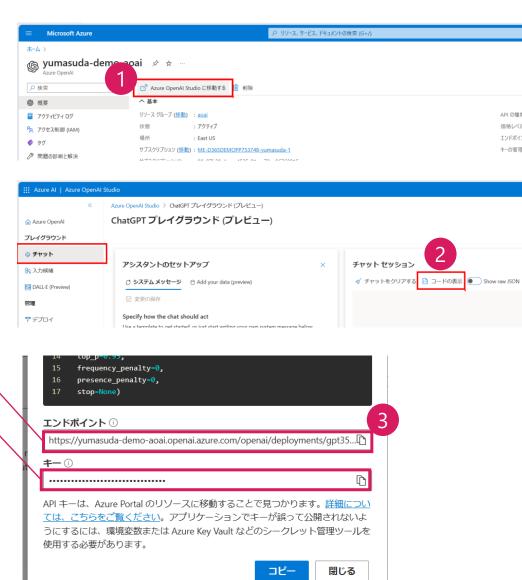
環境変数の設定



価格レベル

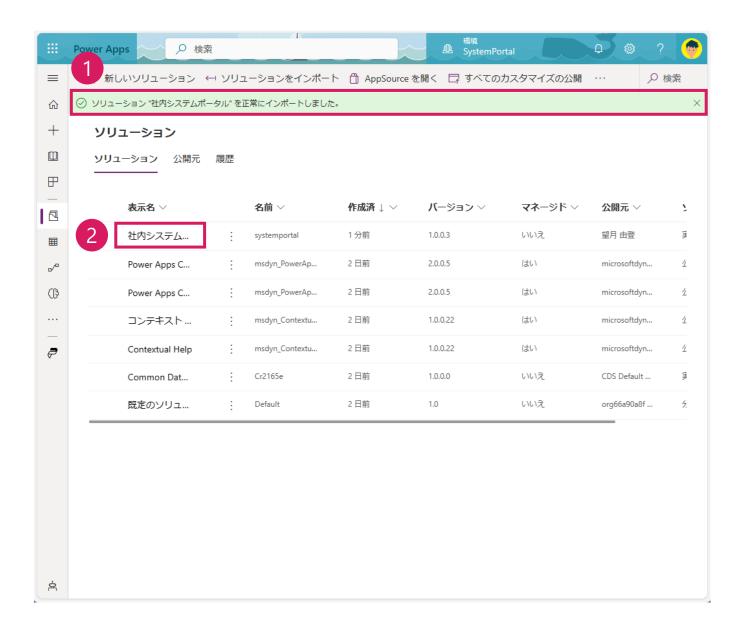
エンドポイント





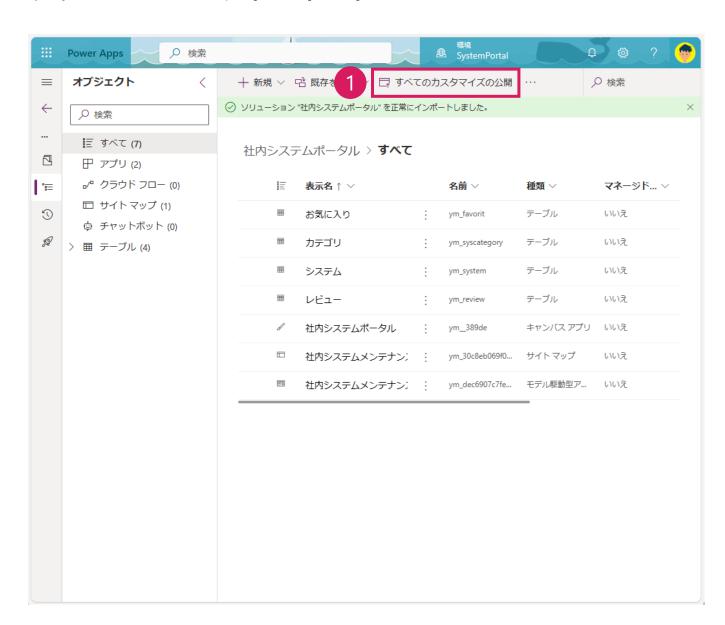
- 1. Azure Portalより作成済みの Azure OpenAIのリソースを開 き、[Azure OpenAl Studio に 移動する]をクリック
- 2. Azure OpenAl Studio上で、 [チャット] > [コードの表示]をク
- 3. ここで表示される、「エンドポイン ト」の値を、環境変数の「Chat Completion API Endpoint に、「キー」の値を、「api-key」に 設定
- 4. [インポート]をクリック





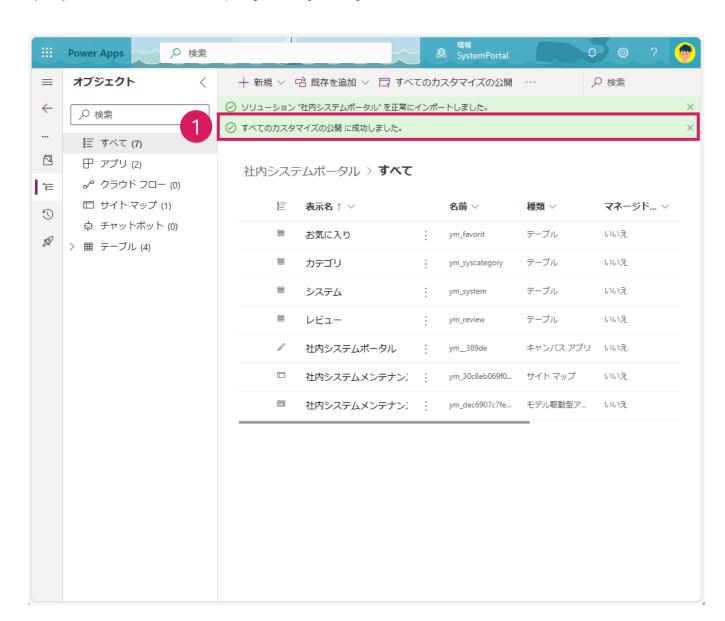
- 1. ソリューションが正常にインポートされたことを確認
- 2. インポートしたソリューション名をクリック





1. 「すべてのカスタマイズの公開」をクリック





1. 正常に公開が完了したことを確認





© 2023 Microsoft Corporation. All rights reserved.

<u>この資料は、マイクロソフトの機密情報</u>が含まれており、貴社のみを対象として開示させて頂くものです。

この資料に記載されている情報は、情報の提供のみを目的としており、この資料の発行時点におけるマイクロソフトの見解を反映したものです。 市場および他社製品も変化していくため、発行以降の正確性に関して、マイクロソフトはいかなる保証もいたしません。 明示、黙示または法律の規定にかかわらず、これらの情報についてマイクロソフトはいかなる責任も負わないものとします。